

2016年北米ハンドメイド自転車展 出展支援・参加報告

平成28年2月26日～28日の3日間、今回で第12回目となる北米ハンドメイド自転車展が米国カリフォルニア州サクラメントにあるサクラメントコンベンションセンターで開催された。この展示会はハンドメイド自転車製品に焦点が絞られた展示会で、高級自転車製品の展示が中心となっており、小規模のフレームビルダーが新製品を展示する場所として注目されている。

この展示会は少しでも多くのフレームビルダーに出展の機会を与えるという主催者側の考え方から、毎年開催地が変更されることも特徴の一つである。



サクラメントコンベンションセンター

当協会ではこの展示会のこのような背景から、国内のフレームビルダーや関連部品製造企業に対し出展の機会が得られるよう2013年から出展支援業務を行っている。本年は4社から当協会に対し出展支援の申請があり、当協会と一体となり日本企業によるグループ出展を行った。

展示会の概要

展示会の名称：2016 北米ハンドメイド自転車展（2016 North American Handmade Bicycle Show, 2016NAHBS）

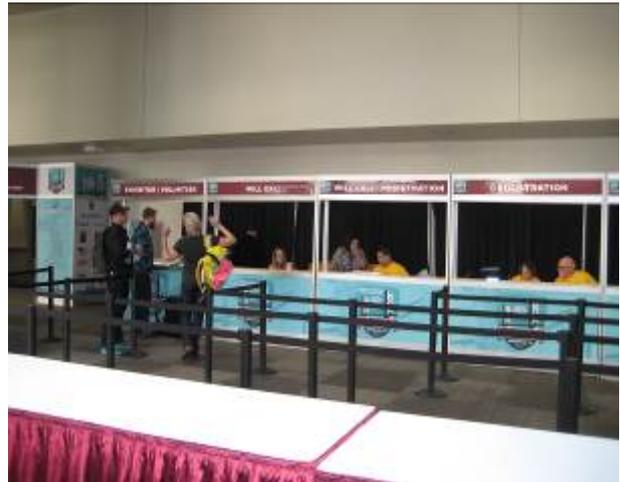
会 期：平成28年2月26日～28日

会 場：米国カリフォルニア州サクラメント市 サクラメントコンベンションセンター

出展者数：171社（昨年は125社）



会場入り口の模様

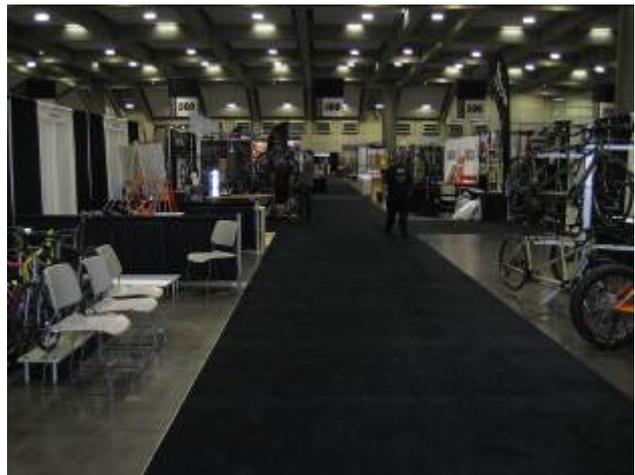
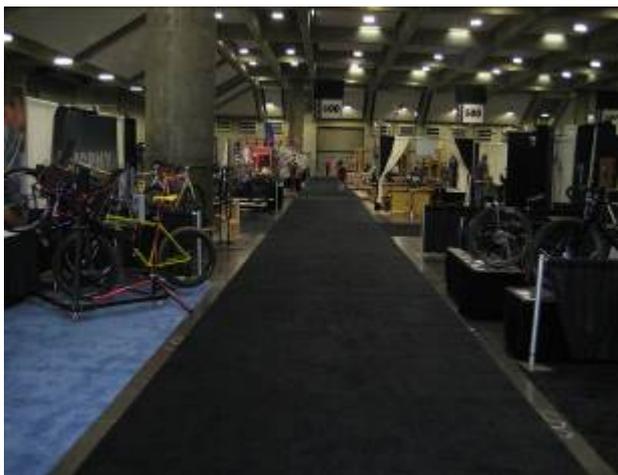


受付の模様

1. 展示会全体の様子

本年はカリフォルニア州での開催となったので、土地柄からサイクリングが盛んで、出展者数も展示会事務局ホームページによると171社となり、昨年の125社から大きく増加した。

初日は9時に開場し、平日にもかかわらず朝から多くの来場者が詰めかけた。この日は小売店等業界関係者の入場が多かった。2日目の土曜日になると更に多くの来場者に恵まれ、多くの通路が長い時間にわたり来場者で埋まるような状況であった。最終日3日目は、日曜日ということで通常、来場者数はあまり多くないことが多いが、今回は最後まで多くの人でにぎわった。この展示会は入場料を払えば誰でも参観できる展示会であり、自転車好きの人達は勿論、親子連れ、家族で来場する人も多く、ビジネスショーとは全く違った雰囲気である。



会場内の模様

2. 完成車・フレームの展示

クロモリ製のロードバイクのほか MTB をはじめツーリングバイク、タンDEM等各種の手作りの自転車が展示されていた。フレーム素材では今年はチタン製のものも多く見られたが、これまで比較的多く見られた竹や木のフレームを用いた自転車は殆ど見られなくなっていた。

また、この展示会の本来の目的であると言ってもよい、若いフレームビルダーに低価格で出展の機会を提供する場であるニューフレームビルダーテーブルというコーナーは、昨年までに比べ今年は更に盛況であった。自転車好きの来場者が数多く集まり、出展者と真剣に会話を交わしている様子が見られた。この区画には以前からのハンドメイド展の雰囲気がそのまま残っている。



ニューフレームビルダーテーブルの様様

一方、昨年は日本以外のアジアの出展者がはじめて見られたが、今年はこれらの出展者は姿を消していた。このため以前の雰囲気に戻ったような印象を受けた。

この他、今年も昨年までと同様、ベストロードバイク、シティバイク、マウンテンバイク、タンDEM等、各種のカテゴリーの賞が設定され、予め登録された自転車の中から優秀な自転車が選考委員により選ばれ、表彰された。

3. 自転車・フレーム以外の展示等について

自転車やフレームの展示以外にウェアやアクセサリーの展示は一昨年あたりから増えてきており、今年もその傾向が続いていた。従来のハンドメイド自転車に焦点を絞った展示会という位置づけから、自転車製品全体に展示物を広げた展示会へという変化は継続している。コンポーネント、タイヤ、ホイールやフェンダー、各種のパイプ、サイクルパーツ、更にTシャツをはじめとしたウェア関係やサイクルキャップ等、様々な自転車関連製品が今年も展示されていた。大手コンポーネントメーカーは出展のほか、展示会のスポンサーにもなっており、また独自の賞を設定するところもあり、積極的な取り組みがみられた。

一方、3日間の会期中に各種のセミナーも開催された。ビジネスとしてのハンドメイドフレーム製造、ビルダー同士の討論会、起業の仕方といった内容のものや、保険関連のセミナー等が開催された。

4. 当協会の実施した出展支援業務及び日本企業のグループ出展について

当協会では 2013 年からこの展示会に出展を希望する日本の自転車関連製品企業に対し出展支援を行っている。本年は以下のとおり完成車 2 社、部品製造企業 1 社、タイヤ製造企業 1 社の計 4 社から当協会に対し出展支援の申請があった。当協会では展示会事務局に対し、これら 4 社分の出展申請の代行を行い、展示会事務局より出展承諾を得たうえで、出展料の立て替え払い、展示会 HP への登録等各種出展手続き、展示会事務局に対する小間位置の調整交渉、出品物搬出入方法の助言、会期中における現地での各種出展支援業務等を行った。展示会事務局からは、まとまった小間が割り当てられ、小さい規模ながらも日本企業によるグループ出展を行うことができた。こうした支援業務は、地味ではあるが出展支援申請企業から好評である。

出展支援申請企業各社は、来場者からの引き合いや問い合わせを数多く受け付けたほか、新規受注を獲得したところもあった。当協会に対し来年も同様の出展支援業務を行ってほしい旨の要望もいただいた。

2016北米ハンドメイド自転車展 当協会出展支援実施企業一覧

出展社名 (英文名)	住 所	電話 F A X	主な出品物
エクイリブriumサイクルワークス EQUILIBRIUM CYCLE WORKS	〒140-0011 東京都品川区東大井 3-22-24 http://equilibriumcycleworks.com	080-3555-1978 050-3375-1909	完成車 フレーム
ライフバイク LIFE BIKE	〒151-0071 東京渋谷区本町 2-16-4 扶桑東京ビル 1 階 http://www.lifebiketokyo.com/	03-6300-5565 03-6369-4896	完成車
株式会社本所工研 HONJO	〒130-0003 東京都墨田区横川 2-19-10	03-3625-2431 03-3625-2433	フェンダー
パナレーサー株式会社 PANARACER	〒530-0044 大阪市北区東天満 2-9-1 8 階 http://panaracer.co.jp	06-6354-7810 06-6354-7834	タイヤ



エクイリブリウムサイクルワークス



ライフバイク



株式会社本所工研



パナレーサー株式会社

5. 次回の北米ハンドメイド自転車展について

第 13 回目となる次回の北米ハンドメイド自転車展は 2017 年 3 月 10 日～12 日にユタ州ソルトレイクシティで開催される事が発表された。

以 上